

Gauss 関数の最尤推定

2024 年 1 月 25 日

最尤推定

最尤推定

Gauss 関数の最尤推定

正規分布の確率関数は Gauss 関数であり、以下である。

$$f(x; \mu, \sigma^2) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left[-\frac{(x - \mu)^2}{2\sigma^2}\right] \quad (1)$$

個数 N のデータ $x = (x_0, x_1, x_2, \dots, x_n)$ を用意すると尤度関数は以下となる。

$$L(x|\theta) = \sum_{n=0}^N \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left[-\frac{(x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}\right] \quad (2)$$

Gauss 関数には 2 つのパラメーターが存在するため、2 回に分けて各々のパラメーターを決定する必要がある。

パラメーター μ についての最尤推定

(2) 式を μ で偏微分するのだが、それに先んじて簡単のため両辺に対数を取って式を変形する。

$$\log_e L(x|\theta) = \log_e \sum_{n=0}^N \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left[-\frac{(x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}\right] \quad (3)$$

$$= \sum_{n=0}^N \log_e \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} + \log_e e^{-\frac{(x_n - \mu)^2}{2\sigma^2}} \quad (4)$$

$$= \sum_{n=0}^N -\frac{1}{2} \log_e(2\pi\sigma^2) - \frac{(x_n - \mu)^2}{2\sigma^2} \quad (5)$$

$$= -\frac{N}{2} \log_e(2\pi\sigma^2) - \frac{1}{2\sigma^2} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (6)$$

(6) 式を σ で偏微分する.

$$\frac{\partial}{\partial \sigma} L(x|\theta) = -\frac{1}{\sigma} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu) \quad (7)$$

最後に (7) 式を 0 とし, μ について解く.

$$-\frac{1}{\sigma} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu) = 0 \quad (8)$$

$$-N\mu + \sum_{n=0}^N x_n = 0 \quad (9)$$

$$\mu = \frac{1}{N} \sum_{n=0}^N x_n \equiv \bar{x} \quad (10)$$

(10) をみると Gauss 関数のパラメーター μ はデータ x の平均に等しいことがわかる. したがって μ はデータの平均である.

パラメーター σ についての最尤推定

μ の場合と同様にして, (6) 式を σ で偏微分する. 対数に注意し, その引数を u とする. (合成関数の微分)

$$\frac{\partial}{\partial \sigma} \log_e L(x|\theta) = -\frac{N}{2} \frac{d}{du} \log_e u \frac{d}{d\sigma} 2\pi\sigma^2 - \frac{\partial}{\partial \sigma} \frac{1}{2\sigma^2} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (11)$$

$$= -\frac{N}{2} \cdot \frac{1}{u} \cdot 4\pi\sigma + \frac{1}{\sigma^3} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (12)$$

$$= -\frac{N}{2} \cdot \frac{1}{2\pi\sigma^2} \cdot 4\pi\sigma + \frac{1}{\sigma^3} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (13)$$

$$= -\frac{N}{\sigma} + \frac{1}{\sigma^3} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (14)$$

$$= \frac{1}{\sigma} \left\{ -N + \frac{1}{\sigma^2} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \right\} \quad (15)$$

最後に (15) 式を 0 とし, σ について解く.

$$-\frac{1}{\sigma} \left\{ -N + \frac{1}{\sigma^2} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \right\} = 0 \quad (16)$$

$$-N + \frac{1}{\sigma^2} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 = 0 \quad (17)$$

$$N\sigma^2 = \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (18)$$

$$\sigma^2 = \frac{1}{N} \sum_{n=0}^N (x_n - \mu)^2 \quad (19)$$

(19) 式を見るとこれは分散の定義そのものである．従ってガウス関数のパラメーター σ はデータの分散である．

以上 2 回の最尤推定により，Gauss 関数のパラメーターを解析的に決定することができた．よって，適当なデータを用意し，その平均と分散とを (1) 式に代入することでヒストグラムを Gauss 関数で近似することができる．